



# 西町小だより

令和8年5月1日 5月号

草加市立西町小学校

## 学校教育目標

- よく考え工夫する子
- 心豊かで思いやりのある子
- たくましくねばり強い子

児童数 計569名



## 「よく考え 工夫する子」の育成に向けて

校長 岩 淵 健 志

朝の校門であいさつ運動が始まりました。毎週火曜日と金曜日の朝、代表委員を中心に行い、お互い笑顔であいさつをすることで、気持ちよく学校生活がスタートしています。また、1年生がいる登校班では、班長さんが手をつないで一緒に歩いてあげたり、何回も何回も振り返って1年生のスピードに合わせて歩いてあげたりと、心が温まる光景をよく目にします。このような心やさしい子どもたちの姿が、笑顔いっぱいの西町小を作り上げています。



さて、本校の学校教育目標のひとつは「よく考え 工夫する子」です。この学校教育目標達成に向けた取組の一つとして、児童一人ひとりを大切に授業づくりを通して、基礎学力の確かな定着と協働的な学びを通じた思考力・表現力の育成を図ります。本校では、これまで草加中学校区で取り組んできた自己肯定感、自己有用感を育む授業づくりを基盤に、重点教科を算数科として、基礎・基本となる知識・技能の定着を目指して研修を行ってまいりました。その積み重ねを大切に、今年度はさらに焦点を絞って、既習事項を生かして見通しをもたせ、数学的な見方・考え方を働かせながら課題に取り組むこと、そして、自分の考えを根拠をもって表現し、比較検討する学びあいを充実させることに注力してまいります。

キーワードは、「何を使う?」「どう考える?」「なんでそう考えたの?」「同じ?違う?」「どっちがいい?」です。子どもたち一人ひとりの考える力、伝える力、等を育ててまいります。

引き続き、家庭で慈しみ、学校で教え、地域で育む西町小学校の教育の充実に努めてまいります。皆様のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

※今年度は、西町小学校開校60周年記念の年です。あらためて、西町小学校の素敵なところを紹介していきます。今月は校歌です。先月の「1年生を迎える会」では、代表委員の皆さんが1年生に校歌(1番)の説明をしました。(一部抜粋)

「校歌を作詞した宮澤章二さんは、ジングルベルを日本語になおした方としても有名です。」

「校歌の1番は冬の終わりから春へ、2番は夏の始まり、3番は秋をあらわしています。」

「みんなで、希望の春をあらわせる、そんな明るく元気な声で校歌を歌えるといいですね。」

〔西町小学校校歌〕

作詞 宮澤 章二  
作曲 平井康三郎

燃え出る草の芽のように  
ひとみ明るく 土をふみ  
われらは歌う  
希望の春よ  
草加西町 風ひかる

学びの道に 友と立ち  
からだ鍛えて 進むとき  
われらの夢を  
いろどる松よ  
心やさしく たくましく

まことの知恵と愛に満ち  
明日を求めて 健やかに  
われらは育つ  
実りの秋よ  
草加西町 庭たのし

※昭和四十二年十二月  
校歌制定